

令和2年度学校評価(自己評価)における年間評価

点検・評価項目	自己評価	
	優れている…3	自己点検・自己評価項目総括
	適切…2	
	改善が必要…1	
1. 総合評価	2	
2. 「学習の記録」簿	3	昨年度までの「学習の記録」が形骸化してきたことと、グループでの学習ができないことを踏まえて改訂をおこなった。今回は前期の半分が休校となっているため不完全なものではあるが改良して充実させたいと考えている。
3. 作成記録	2	密な状態を回避するためグループでの活動自粛を行ったので、これまでのような作成活動はおこなっていないが、各ハウスにおいて状況に応じた対応をすることができた。来年度以降もコロナの影響を考え、iPad導入も視野に入れて新しい形での作成活動を検討したい。
4. 教材	2	今年度はテキストを中心に、電子黒板を利用したスタディサプリやクラッシーなどを活用した。ただ、内容に関しては特に指定せず、各学年、各クラスの状況に応じたもので行ったため選択の幅が広がったが、一方でクラス間の活動の差は見られた。
5. カリキュラムの履行状況	2	例年前期はテキストを中心とした学習がメインであるため、グループ学習などを排除した形で展開はできたが、後期はクラステーマ学習が展開できず、修学旅行なども中止となってしまったため、カリキュラムの履行が大幅に困難になってしまった。
6. 年間計画の適性	1	今年度は、クラステーマ学習の展開ができず、修学旅行の中止や文化祭・体育祭などの学校行事の縮小もあって、年間計画による活動が大幅に変更となってしまった。今後もこの状況が続くことを想定し、ICTなどを活用した新たな形での計画が必要である。

